



平成28年1月1日現在
総世帯数 7,282世帯
総人口 16,805人
男 8,350人
女 8,455人

小屋の伝統行事

道祖神まわり

天保15年に作られた木彫の道祖神像(猿田彦太神・天鈿女命)が小屋公民館横の道祖神祠に収められています。毎年小正月の三九郎前には道祖神やオンマラ様を持って各家々を回ります。



▲皆で集まってお礼づくり



▶小屋公民館横の祠に収められている木彫の道祖神像



おつと来たりや道祖神
行くも帰るも道祖神
お家繁昌するよう
土蔵の三つも建たるよう

と唄いながら、今年も小学生がお札を配り各家々を回りました。その後、三九郎に点火し道祖神にも火を見ても

らいながら、無病息災・五穀豊穣を祈願し、繭玉を焼いて頂きました。

芳川の青空のもと 一年間の無病息災を願い、三九郎が行われました。

小正月の伝統行事といえばやはり三九郎。昔から三九郎の残り火でまゆ玉を焼いて食べると「虫歯にならない」「腹が痛くならない」「書初めの習字を燃やして火が高く上がると上手になる」などと言われています。ここ芳川では、1月始めに各町会にて老若男女大賑わいで「三九郎」が行われました。いつまでも大切に守り伝え続けたい伝統行事です。



「歴史看板除幕式」と「新年交流会」が実施されました。

1月9日午後1時半から、かねてより準備作成していた、芳川地区の「芳川の成り立ちと四ヶ堰」を記した歴史看板の設置を記念して、除幕式が行われました。



これは、松本市から地域づくりに対する補助金を活用して、約20万円をかけて完成した物です。又、除幕式終了後の二時から公民館二階大会議室で、芳川地区の各種団体の方々約120名が参加して、新年交流会が開催されました。十数年前まで実施されていた新年会を、衣替えしての交流会でしたが、大勢の方々が参加して満員状態でした。旧知との久々の会話で盛り上がり、芳川地区の融和と団結を誓い終了しました。



親子で「しめ縄作り」体験

芳川地区福祉ひろば・公民館共催で芳川小学校5年生のしめ縄作り体験に保護者も一緒に参加し、12月22日芳川小学校体育館で行われました。全員で220名。クラスごとに分かれ、地域ボランティアの方25名の指導のもと、初めての「おわん」や「しゃもじ」作りを体験しました。児童よりも夢中になっている保護者

もおり、あつという間に過ぎた2時間も思ひ通りにいかないことも多々ありましたが、自分で作ったしめ縄を早く足願。伝統文化の継承と地域の方々の交流が楽しくできました。



芳川の今昔物語 第16話

松本市天然記念物 昭和51年11月指定



▲撮影H28.1.10

その昔…

タキノジウムはすぎ科の木で、二列葉松落羽松などと呼ばれ、現在は北米からメキシコにかけて生育している。信州には数少ない落葉針葉樹で、大正の初期

現在…

小学校が移転した跡地は芳川児童センターと児童遊園となり、西側の隅に現在もそびえ立っている。

たちばなし

今年娘が成人式を迎えました。「二年なんてあつという間だね」なんて、よく話をしますが、もう二十年も経つたのかと思うと、月日が経つのは早いなあと思う反面、年をとったなあと思うの頃です。体だけは大きくなったけど、中身はしっかり育ってくれたのかな？自分では、厳しくしていたつもりでも、少し甘やかした過ぎたかな？二十年を振り返ってみると、反省する面は多いけれど、娘の成長とともに、自分自身も成長できたと思います。さて、成人された方々が今後どの様に、大人として成長していくのでしょうか？ただ単に世間の波に流されていってしまうのでは無く、自信の芯をしっかり持って色々な荒波を経験として吸収し、希望と不安を胸に、責任という重い荷物を背負って、しっかり成長して欲しいものです。そんな偉そうなことを言っていて、自分はどうかだったの？なんて言われると、腕を組んで「うん、うん」とうなづいてしまいがちですが…。最後に親として、成人した娘に思う正直な気持ち、不安七割・期待が三割といったところでしょうか。